

# 「赤ちゃんは大きな力」

11.25

コミュニケーション能力回復に効果 米子で講座

005年から年2〜3人が参加した。高塚准教授は、学校で学生や社会人20人が参加した。

赤ちゃんとの触れ合いを通してコミュニケーションの大切さや命の尊さなどを学ぶ講座「こじんには赤ちゃん」

(同実行委、米子市教育文化事業団主催)が23日、同市西町の市児童文化センターであった。鳥取大学医学部総合総合医学教育センターの高塚人志准教授が、赤ちゃんと同じく効果などを説明した。

核家族化や少子化により子どもたちが幼児と触れ合う機会が少なくなる中、実際に赤ちゃんに触れることで、自己肯定感を高め社会参加の実感を得てもらおうと、同実行委が2



赤ちゃんとの触れ合いがコミュニケーション能力の向上につながることを説明する高塚准教授

れ合いを取り入れることの重要性を強調。「赤ちゃんに触れ合うことで人と向き合う際の壁が取り除かれる。現代人が失ったコミュニケーション能力の回復に大きな力となる」と力説した。

コミュニケーションの難しさについて「人は自分の思い込みの中で相手のメッセージを受け止めてしまう」と指摘。「相手と同じ空間で心地良く過ごすためには、相手の気持ちを理解するように努力をするしかない」と説明した。

参加した米子市淀江町、英会話塾経営の下哲治さん(33)は「自分のコミュニケーションをどうしたら高められるか大いに参考になった」と話していた。

(岡宏由紀)